

映画『ブルーボーイ事件』試写会

11月14日に劇場公開される映画「ブルーボーイ事件」の試写会を開催します。映画上映後にはゲストに監督の飯塚花笑さん、主演の中川未悠さんをお迎えし、トークセッションも行います。奮ってご参加ください。参加希望の方はQRコードよりお申し込みください（お申込締切：10月31日18:00）。

日時：11月5日（水）18:00~20:40（開場：17:30）

会場：青山学院大学青山キャンパス17号館6階 本多記念国際会議場

対象：青山学院大学・実践女子大学・聖心女子大学・津田塾大学の学生と関係者
各大学の中高生、保護者、渋谷区関係者

定員：100名程度

※当日は報道機関による取材が入る可能性があります。

申込フォーム



■INTRODUCTION

1960年代後期、東京オリンピックや大阪万博で沸く、高度経済成長期の日本。国際化に向け売春の取り締まりを強化する中、性別適合手術〔*当時の呼称は性転換手術〕を受けた通称ブルーボーイたちを一掃し街を浄化するため、検察は手術を行った医師を逮捕。手術の違法性を問う裁判には、実際に手術を受けた証人たちが出廷した。

■TALK GUEST

飯塚花笑さん

1990年生まれ、群馬県出身。トランスジェンダーである自らの経験を元に製作した『僕らの未来』（11）は、第33回ぴあフィルムフェスティバル審査員特別賞、第30回バンクーバー国際映画祭ロンドン・レズビアン&ゲイ映画祭など、国内外で高い評価を得た。19年には「トイレ、どっちに入る?」で2019フィルムメックス新人監督賞準グランプリを獲得。22年には映画『フタリノセカイ』を公開。続く23年『世界は僕らに気づかない』が第17回大阪アジア映画祭にて、アジア映画の未来を担う才能に贈られる、来るべき才能賞を受賞。その後世界9カ国、14つの映画祭より招待を受けた。今、最も注目すべき若手映画監督である。

中川未悠さん

1995年9月11日生まれ、兵庫県出身。
幼い頃から性別違和を感じており、2017年春に21歳で性別適合手術を受け、その手術を受けるまでを記録したドキュメンタリー映画『女になる』が2017年秋に公開。以後、学校・企業講師や絵本・漫画の監修など活躍の場を広げている。本作のオーディションで演技に初挑戦し、2か月に及ぶオーディションの上、主人公・サチ役に大抜擢された。



■映画に関する問合せ：渋谷インクルーシブシティセンター〈アイリス〉

☎：03-3464-3395 ✉：info_iris@shibuya.tokyo （火～日：9時～17時）

■会場・来場申込に関する問合せ：青山学院大学スクーンメーカー記念ジェンダー研究センター

☎：03-3409-9554 ✉：agu-smcgs@aoyamagakuin.jp （月～金：10時～18時）

■共催：渋谷区・青山学院大学スクーンメーカー記念ジェンダー研究センター